学校番号	3035

令和８年度　探究科

教科	探究	科目	（学）探究Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	自主教材『Advice for Researchers + Research Lab Notebook』						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年次の探究Ⅱで学習した経験を踏まえて、より深い研究を主体的、能動的に探究活動を行ってください。再度、情報の集め方、情報の正確性の見極め、分析方法、プレゼンテーションの仕方を学習し、論文にまとめることで、課題の発見からその解決に向けた過程を体験してください。これらの活動によって、知識を広め深く理解することの重要性を学び協働して探究する姿勢を身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
グループごとに探究内容を決定し、それに関する文献調査、実験、フィールドワークを行うなど、自ら疑問を持ち、課題の発見から解決に至る研究手法を構築する。
【思考力、判断力、表現力等】
得られた内容を分析し、発表できるようにまとめ、効果的な方法につながる活動を行う。ポスター発表や、プレゼンテーションソフトを用いた口頭発表を行う中で、論理的思考・分析力・プレゼンテーション能力を高める。探究活動の成果を発表要旨やレポートとしてまとめ、取り組みを整理する。
【学びに向かう力、人間性等】
グループごとに課題設定から調査研究を進めるうえで、自らの活動を振り返り、他者と協力しながら課題を解決する力や集団の中で自らの役割を達成することの大切さを学ぶ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	探究の過程において、課題の発見、文献調査、実験、フィールドワークなど課題解決に必要な知識及び、得られた内容の分析、論文にまとめなどの技能を身に付けられている。また、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できている。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集められている。探究活動を通じて得た内容について、ポスター発表や、プレゼンテーションソフトを用いた口頭発表、作品制作などを行う中で、論理的思考・分析力・プレゼンテーション能力、表現力を身につけている。	グループごとに課題設定から調査研究、論文執筆を進めるうえで、主体的・協働的に取り組むとともに、自らの活動を振り返りつつ、互いのよさを活かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	グループごとの探究活動・成果発表	探究Ⅱでの経験を踏まえた探究活動の進め方 ・情報の集め方 ・問いの立て方 ・課題に応じた研究方法 グループごとの探究活動 教科内の成果報告 下級生への成果発表会	a:自ら設定した課題の解決に向けて、問いの立て方、情報の集め方、情報源の確認方法、課題に応じた適切な研究の進め方を身に着けている。 b:グループごとにテーマを通して、自ら課題を発見し、担うべき役割を明確にして、情報を見つけ出している。また、活動を通じて得た内容についてポスターやプレゼンテーションソフトを用いた口頭発表の方法、論理的思考や分析の仕方を身につけている。 c:振り返りの意味を理解し、これまでの活動の振り返りを行い、次の活動へとつなげている。	ノート 発表要旨 成果発表	レポート 発表要旨 成果発表	レポート 成果発表 振り返りシート
後期	グループごとの探究活動・論文執筆	グループごとの探究活動 論文執筆 探究活動のまとめと振り返り	a:成果発表までの研究・成果発表会およびそこで得られたフィードバックを適切に用いて、グループごとのテーマに即した探究活動の方法を再検討・深化させている。 b:設定したテーマについて、より深く追究し、情報を見つけ出している。また、活動を通じて得た内容についての最終の論文作成を行う中で、論理的思考・分析力・表現力を身につけている。 c:論文執筆、振り返りを通して、これまでの活動の総括を行い、探究活動の意義を理解している。	ノート 論文	レポート 論文	レポート 論文 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度